

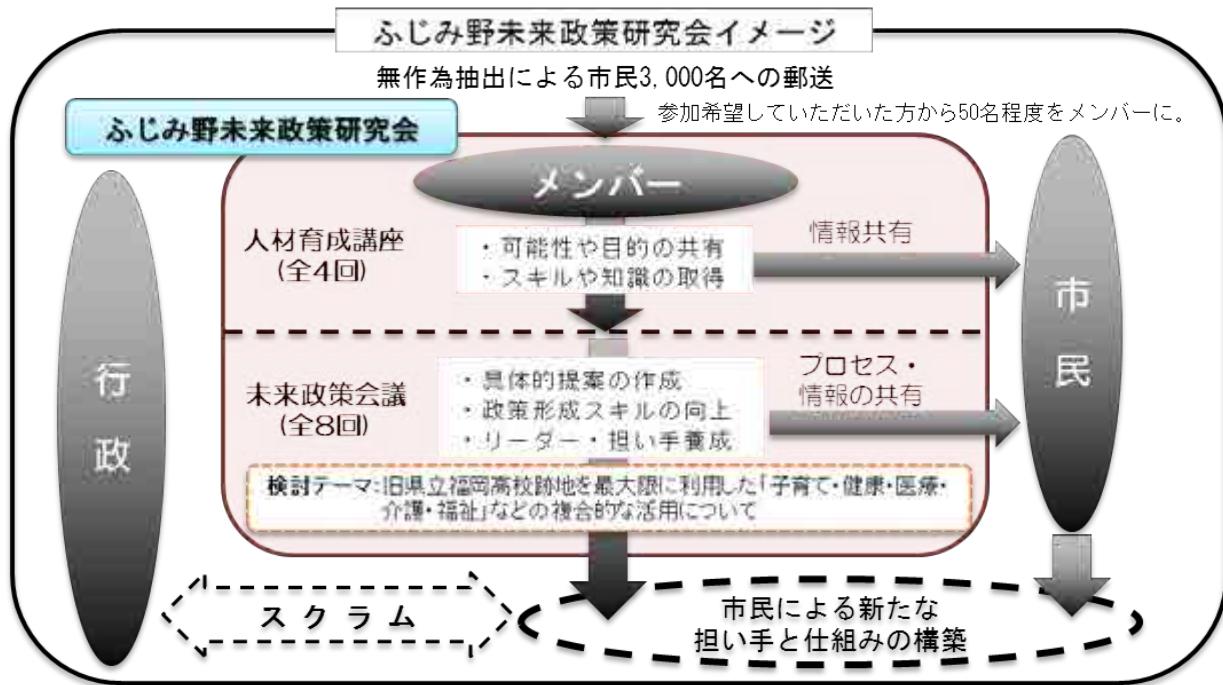
ふじみ野未来政策研究会（スクラムinふじみ野）の取り組み概要

目的

ふじみ野市には、少子高齢化への対応や合併による公共施設の重複・分散・老朽化などの大きな地域課題を抱えており、また、将来的に人口は減少傾向と予測される為、持続的な地域経営の確立・地域再生の取り組みが求められています。

こうした中で、市はもちろんのこと、市民自らも地域の課題について考え、解決策を検討・提案し、行動していきます。その過程で得られた知識や経験を蓄えた市民の方々を本市の持続・継続的発展を支えるパートナーとして位置付けます。将来的には、自立的に本市の地域課題を掘り起こし、調査し、解決策の検討を行うなど、地域活性化に向けた事業を自ら実行していく市民パートナーの確立を目指して、この研究会を実施します。

スキーム



調査内容

(1) 地域活性化・雇用創出等に繋がるアイデア、手法を考えられる人材層の育成に係る講座の実施(12月5日、12月12日、12月19日、12月26日)

(2) 全公共施設の建物価値イニシャルコスト、維持管理費用ランニングコスト、利用状況等の詳細把握を行うことによる、施設カルテの作成(市内全公共施設を対象に施設調査・カルテ作成)

(3) 旧県立福岡高校跡地の活用等をきっかけとした「子育て」「健康」「福祉」複合活用手法の検討に係る会議の実施(1月9日、1月16日、1月23日、1月30日、2月13日、2月27日、3月6日、3月16日) など

活動プロセス

「ふじみ野未来政策研究会(スクラムinふじみ野)」は、市民の方に、地域課題について考えられる知識や経験を積んでいただき、将来的には、自立・継続的に本市の地域課題に対する調査・解決策の検討を行って行くことができる市民パートナーの育成及び、公民連携システムの確立を目指し、市民参加による政策形成プログラムを実施しています。

これまでは、市の取り組みにあまり参加できなかったという方々にも幅広くご参加いただきたいという主旨で、18歳以上の市民の方を対象とした無作為抽出により、3千人の方に参加募集の案内をしてメンバーへの呼びかけを行い、参加希望していただいた方から50名程度をメンバーに選出しています。

人材育成講座(全4回)

政策提案を行うための基礎知識・先進事例等の情報収集、専門家・実務家からのアドバイス



(第1回) ワールドカフェ等によるニーズ把握

(第2回) NPO、社会課題解決の事業化の事例



(第3回) 公共施設の再配置・利活用・PPPの事例



(第4回) 地域シンクタンクの役割・立ち上げ事例

情報・事例・意見交換を経て、政策提案づくり

8回にわたる政策研究会の実施(2時間×8回)

6つのグループに分かれて、4つのテーマ(公共施設再配置、跡地活用、子育て、市民参加)を検討
公開討論会に向けたワーキングチームの立ち上げ、グループごとの準備・調査の実施

【平成26年3月16日(日) 公開討論会による発表・討論】